

北海道新幹線を使った貨客混載輸送の検討状況について

佐川急便株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:本村正秀、以下佐川急便)と北海道旅客鉄道株式会社(本社:札幌市中央区、代表取締役社長:島田修、以下JR北海道)は、宅配便荷物を在来線旅客列車で運ぶ貨客混載輸送に取り組んでいますが、次のステップとして、北海道新幹線を使った輸送の検討を行っています。

これまでの検討において、一定程度の進捗がみられたことから、ご報告します。なお、事業化については、実車検証の結果などを踏まえて、関係機関等と調整してまいります。

1. 在来線における貨客混載輸送の取り組み状況

昨年4月に、JR北海道の宗谷線 稚内駅・幌延駅間において、幌延町向けの宅配便荷物を旅客列車で運ぶ貨客混載輸送事業を開始し、現在は、一日あたり約50~60個の宅配便を輸送しています。

2. 北海道新幹線を使った貨客混載輸送の目的

佐川急便では、北海道・本州間の輸送ネットワークの効率化による配送品質の向上を図り、これまでより短いリードタイムでの輸送を可能にする新しいサービス展開の実現を目指しており、JR北海道としても、北海道新幹線を有効活用できることから今回取り組むこととしました。

3. 検討中のスキーム

北海道新幹線 新函館北斗駅・新青森駅間で、客室内へ宅配便荷物を収納した専用ボックスを積載して輸送することを検討しています。

■ 現在



■ 北海道新幹線を利用



4.実車検証の公開

3月上旬の実施を予定

(新函館北斗駅にて報道関係の皆様公開する予定です。詳細については、別途ご案内します)